

# 令和8年度(2026年度) 中主小学校の教育

児童数 579名  
学級数 26学級  
教職員数 65名  
(4月1日現在)

**中主学区統一教育目標** 自ら考え、未来を生きぬく中主っ子の育成  
**学校教育目標**  
心豊かでたくましい実践力のある中主っ子の育成

## めざす学校像

『地域とともにある学校』  
○地域や保護者と共に歩む学校

## めざす子ども像

○かんがえる子  
○やさしい子  
○げんきな子

## めざす教師像

○学び続ける教師  
○子どもの話を聴く教師  
○寄り添い、信頼される教師



## まなびプロジェクト部会 かんがえる子

### 挑戦1 勉強がわかる児童 90%

#### <具体的方策>

◎ 学ぶ力向上策

視点1: 学びを実感できる授業づくり

- ① 本物(人・体験)との出会いやICTの効果的活用を大切に  
した学習 「学ぶことが楽しい」
- ② 本に親しむ 「ココロが育つ・コトバが育つ」

視点2: 学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり

- ① 違いを認め合える集団 「聴く、認める、ほめる」
- ② 自分たちでできた経験と自信 「まかせてみる」

視点3: 子どものために一丸となって取り組む学校づくり

- ① 学び合い、高め合い、情報共有する組織 「学年OJT」



中主学区マスコットキャラクター

## こころプロジェクト部会 やさしい子

### 挑戦2 学校が楽しいと感じる児童 90%

#### <具体的方策>

- 1 すべての教育活動の中で人権同和教育・いじめ防止  
・相手の立場で物事を考える取り組み
- 2 特別支援理解教育の推進  
・特別支援学級と交流学級の連携強化
- 3 仲間づくりと人権学習を推進  
・部落差別問題をはじめとする人権課題への系統的な学習  
・厳しい家庭的背景を抱えている「しんどい子」に寄り添う

## いのちプロジェクト部会 げんきな子

### 挑戦3 あいさつをする児童 90%

#### <具体的方策>

- 1 安全な学校生活  
・仲間のことを考えた安全な行動(廊下歩行、感染対策等)  
・健康づくり意識の向上
- 2 気持ちのよいあいさつ  
・子ども、家庭、地域、教師、みんなであいさつ
- 3 生徒指導の組織対応  
・「他者を思いやり、傷つけない人」に育てる生徒指導  
・3原則の徹底  
①聴く・寄り添う ②ほめる・認める ③考え、判断させる

## 幼小中で一貫した教育を

- 「中主っ子」家庭教育スタンダード 「中主っ子」学びのスタンダード  
中学校・幼稚園・保育所との連携強化
- 連携部会の充実  
合同研修会の実施・OJTの共同実施  
系統的な教育課程の検討

## 家庭・地域との連携

- 学校からの情報発信 学校だより、HP、テトル配信等
- 地域とともにある学校づくり コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進
- 地域に学ぶ・地域を学ぶ 学校運営協議会、地域学校協働本部、PTA、自治連合会、  
青少年育成市民会議、民生児童委員 など 中主学区関係団体との連携